

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	独立行政法人日本芸術文化振興会運営費交付金に必要な経費		担当部局庁	文化庁	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	長官官房政策課	政策課長 山崎 秀保		
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-1 芸術文化の振興			
根拠法令	独立行政法人日本芸術文化振興会法 第3条		関係する計画、通知等	中期目標、中期計画、業務方法書			
事業の目的	広く我が国の芸術文化の振興又は普及を図るための活動に対する援助を行い、あわせて、我が国古来の伝統的な芸能の保存及び振興を図るとともに、我が国における現代の舞台芸術の振興及び普及を図り、もって芸術その他の文化の向上に寄与する。						
事業概要	○芸術文化活動に対する支援 ○伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演 ○伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修 ○伝統芸能及び現代舞台芸術に関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	10,985	10,570	10,244	10,062	10,082
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	10,985	10,570	10,244	10,062	10,082
	執行額	10,985	10,570	10,244			
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果指標	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)	
	○芸術文化活動に対する支援	成果実績	【会計調査及び公演等調査の実施状況】 平成21年度 実績342件/目標220件以上 平成22年度 実績414件/目標250件以上 平成23年度 実績654件/目標300件以上 【交付決定に係る期間の効率化の達成状況】 平成21年度 実績30.5日/目標40日以下 平成22年度 実績25.3日/目標40日以下 平成23年度 実績26.6日/目標40日以下 【芸術文化振興基金ホームページへのアクセス件数】 平成21年度 実績129,457件/目標110,000件 平成22年度 実績144,240件/目標120,000件 平成23年度 実績134,572件/目標126,000件				
			・国立の劇場としての役割を踏まえた企画意図に沿って計画どおりに公演事業を実施した。 【平成21年度 入場者数543,969人(目標522,850人)】 ・江戸川乱歩の小説を歌舞伎化した10月歌舞伎公演「京乱噂鉤爪」をはじめ、伝統芸能の伝承と普及に配慮した特色のある公演を実施。 ・能楽堂の4年ぶりの新作能「野馬台の詩」では、能と狂言の融合という点において、また、現代に生きる能・狂言としての姿を、国立能楽堂ならではの形で示せた。 ・文楽劇場は、開場25周年記念公演を年間通じて行い、4月「義経千本桜」、夏休み「天姿斯止嵐后晴」、11月「芦屋道満大内鑑」、1月「彦山権現誓助剱」など、本格的な通し上演や久しぶりに上演する作品及び復活作品を含め文楽上演レパートリーの拡大に努めた。 【平成22年度 入場者数514,571人(目標524,194人)】 ・雅楽、声明、民俗芸能、特別企画、大衆芸能の入場者数について、年度計画の目標入場者数を達成することができた。 ・震災により一部の公演を中止した歌舞伎、能楽、組踊等沖縄伝統芸能の入場者数について、年度計画の目標には届かなかったものの、震災による中止公演分を除いた場合の目標入場者数に対しては上回ることができた。 ・以上の伝統芸能公演全体の入場者数について、年度計画の目標には届かなかったものの、震災による中止公演分を除いた場合の目標入場者数(506,968人)に対しては上回ることができた。 ・10月「天保遊俠録」「將軍江戸を去る」の新歌舞伎作品の上演や、1月「四天王御江戸鑑」の196年ぶりの復活通し上演など、特色ある歌舞伎公演を実施した。 ・三島由紀夫原作の新作文楽「鬮売恋鬼網」(9月本館)や、文楽劇場での「日本振袖始」(夏休み公演)の復活上演など、文楽上演演目のレパートリーを拡充した。 ・演芸場で「親子で楽しむ演芸会」「立川流落語会」「園楽一門会」など、独自性のある企画を実施した。 ・能楽堂で新たに社会人向けの入門公演「働く貴方に能楽公演」(8月)を実施した。 ・国立劇場おきなわで新作の組踊(9月)、沖縄芝居(11月)、歌舞劇(3月)など、多彩な企画を実施した。				

成果目標及び
成果実績
(アウトカム)

○伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演

成果実績

【平成23年度 入場者数503,908人(目標534,772人)】
 ・邦楽、雅楽、民俗芸能、特別企画及び組踊等沖縄伝統芸能の入場者数は、年度計画の目標入場者数を達成した。
 ・歌舞伎公演は、国立劇場開場45周年記念公演として、近松門左衛門、河竹黙阿弥、鶴屋南北など作者に焦点を当てた「歌舞伎を彩る作者たち」シリーズを実施し、「開幕驚奇復讐譚」(10月)から「絵本合法衛」(24年4月)まで全6回上演した。「開幕驚奇復讐譚」の脚本は、大谷竹次郎賞奨励賞を受賞した。
 ・文楽公演は、竹本源大夫・鶴澤藤蔵襲名披露(4月文楽劇場、5月本館)、近年では稀な演出も取り入れた「絵本太功記」(5月東京)、舞台装置を駆使した演出による「義経千本桜」(1月文楽劇場)など、特色ある企画を上演した。
 ・舞踊・邦楽等公演は、45周年記念として、オーディション選出の若手奏者も参加した太鼓公演(9月本館)、国立劇場の委嘱作品による特別企画公演「十牛図と秋庭歌一具」(9月本館)、昨年度から2年にわたる舞楽大曲の復活(2月本館)、公演規模を拡大した「舞の会」(11月本館)や「長唄の会」(1月本館)などを上演した。
 ・大衆芸能公演は、演芸場では「東西競題会」(4月)、「桂歌丸芸歴60周年記念公演」(10月)など独自性の高い企画を上演し、文楽劇場では落語、浪曲など特色のある構成による「上方演芸特選会」などを上演した。
 ・能楽公演は、委嘱初演の新作能「影媛」(7月)、企画公演「世阿弥自筆本による能」シリーズ(12月、1月、2月)での復曲の取組など、能楽堂独自の切り口による企画を上演した。
 ・国立劇場おきなわでの組踊等沖縄伝統芸能公演は、組踊は古典演目を中心に上演したほか、研究公演「御冠船踊の世界」での組踊「忠臣身替之巻」の再現(5月)、新作組踊「サシバの契り」(1月)などを上演した。

現代舞台芸術

【平成21年度 入場者数192,720人(目標191,170人)】
 ・全体として目標人数を達成することができた。
 ・オペラにおいては、バイエルン州立歌劇場との共同制作による「ヴォツェック」の上演や、ニーベルングの指環4部作の再演の完了は、新国立劇場にとって大変意義深いものであった。
 ・バレエにおいては、ロシアのモスクワボリショイ劇場にて「牧阿佐美の『椿姫』」を日露共同上演事業として上演し高い評価を得ることができた。また「アンナ・カレーニナ」では現代バレエの上演という意義・必要性をアピールすることができた。
 ・現代舞踊においては、金森稔「Noism09」が、新潟のりゅーとぴあとの共同制作にて上演を行うことができ、地方との連携において成果を上げた。
 ・演劇においては、超大作の「ヘンリー六世」が大変な好評を得、昨年の「焼肉ドラゴン」に引き続き、読売演劇大賞を受賞した。
 ・青少年を対象とした鑑賞公演等においても、今年はこどものためのバレエ劇場をレパトリーに加えることができ、より一層の充実を見た。

【平成22年度 入場者数168,663人(目標180,122人)】
 ・現代舞台芸術公演の入場者数について、年度計画の目標には届かなかったものの、震災による中止公演分を除いた場合の目標入場者数(167,650人)に対しては上回ることが出来た。
 ・オペラは、日本オペラの新作「鹿鳴館」(6月)や、大作「トリスタンとイゾルデ」(12月)など、意欲的な取り組みで上演した。
 ・バレエは、新芸術監督振付の「ピントレーのペンギンカフェ」(10月)など、新国立劇場バレエの新たな方向性を示す作品を上演した。
 ・バレエと現代舞踊の融合という新たな企画「DANCE to the Future」を上演した(5月)。
 ・井上ひさしの東京裁判三部作の連続上演(4~6月)や、「ヘッダ・ガーブレ」(9月)など日本の近代演劇に影響を与えた海外作品を、新翻訳で上演した。

【平成23年度 入場者数184,713人(目標)191,480人】
 ・現代舞踊及び演劇の入場者数は、年度計画の目標入場者数を達成した。
 ・オペラ公演は、気鋭の演出家による「コジ・ファン・トゥッテ」、ヴェルディの名作「イル・トロヴァトーレ」、新国立劇場初のチェコ・オペラ「ルサルカ」、日本オペラの傑作「沈黙」を新制作で上演した。
 ・バレエ公演は、ピントレー芸術監督の振付、レイ・スミス衣装・衣裳など日英スタッフの共同作業による「パゴダの王子」を新制作で上演した。
 ・現代舞踊公演は、バレエと現代舞踊の融合による公演「DANCE to the Future 2011」など、独自性の高い企画を上演した。
 ・演劇公演は、新翻訳による「ゴドーを待ちながら」、新演出による井上ひさしの「雨」、鄭義信書き下ろしの「バーマ屋スミレ」など、意欲的な作品を上演した。

<p>○伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修</p>	<p>成果実績</p>	<p>既成者研修発表会の実施 ワークショップ等での研修修了生の起用により、活躍の場を作った。</p> <p>研修修了生の現況(平成24年4月末日現在) 歌舞伎俳優 研修修了生の占める割合 28.6% 歌舞伎音楽(竹本) 研修修了生の占める割合 83.3% 歌舞伎音楽(鳴物) 研修修了生の占める割合 38.5% 歌舞伎音楽(長唄) 研修修了生の占める割合 11.9% 大衆芸能(寄席囃子) 研修修了生の占める割合 87.5% 大衆芸能(太神楽) 研修修了生の占める割合 34.8% 能楽 研修修了生の占める割合 6.3% 文楽 研修修了生の占める割合 46.3% 組踊 研修修了生の占める割合 9.6%</p>									
<p>○伝統芸能及び現代舞台芸術に関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用</p>	<p>成果実績</p>	<p>(伝統芸能) 【図書、資料等のデータベース化】 図書:実績12,000件/計画12,000件程度(達成度100%) 資料(フロマイト):実績303点/計画300点(達成度101.0%) 公演記録情報 上演情報:実績118公演/計画100公演(達成度118.0%) 公演記録写真:実績23,109点/計画23,000点(達成度100.5%) 扮装図鑑:実績7公演/計画7公演(達成度100.0%) 【舞台芸術教材の作成状況】実績2件/計画2件(達成度100.0%) 【文化デジタルライブラリーホームページへのアクセス状況】 年間アクセス件数:445,148件/目標320,000件(達成度133.4%) 【展示公開の実施状況】実績21回/計画21回(達成度100.0%) 【展示公開の参加者数】実績190,585人/計画182,000人(達成度104.7%) 【講座等の実施状況】実績53回/計画52回(達成度101.9%) 【講座等の参加者数】実績6,469人/計画6,010人(達成度107.6%) 【講座等の満足度】実績88.8%/計画80%(達成度111.0%)</p> <p>(現代舞台芸術) 【展示公開の実施状況】実績5回/計画5回(達成度100.0%) 【展示公開の参加者数】実績9,864人/計画5,500人(達成度179.3%) 【講座等の実施状況】実績37回/計画27回(達成度137.0%) 【講座等の参加者数】実績2,932人/計画1,320人(達成度222.1%) 【講座等の満足度】実績85.7%/計画80%(達成度107.1%)</p>									
<p>活動指標</p>		<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	21年度	22年度	23年度					<p>24年度活動見込</p>
単位	21年度	22年度	23年度								
<p>○文化芸術活動に対する援助 ・芸術文化振興基金等による助成実績</p>	<p>活動実績</p>	<p>(助成金の交付) 芸術家・芸術団体が行う芸術の創造普及を図るための活動その他の文化の振興普及を図るための活動に対する援助を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化振興基金助成金 平成21年度 661件 1,204百万円 平成22年度 804件 1,467百万円 平成23年度 814件 1,423百万円 ・芸術創造活動特別推進事業助成金 平成21年度 529件 4,899百万円 平成22年度 466件 4,280百万円 ・文化芸術振興費補助金による助成金 平成23年度 446件 4,010百万円 									
<p>○伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演 ・伝統芸能等の公演実績</p>	<p>活動実績</p>	<p>(伝統芸能の公開) 歌舞伎、文楽、能楽、組踊等伝統芸能の公開については、多種多様な演出や技法を尊重しながら、つとめて古典伝承のままの姿で正しく維持・保存されるよう心がけて実施した。 平成21年度 185公演(1,056回) 平成22年度 176公演(989回)※震災の影響により、6公演(34回)を中止 平成23年度 186公演(1,040回)</p> <p>(現代舞台芸術の公演) 国際的に比肩しうる高い水準のオペラ、バレエ、現代舞踊、演劇を自主制作により上演した。 平成21年度 35公演(248回) 平成22年度 30公演(258回)※震災の影響により、2公演(13回)を中止 平成23年度 31公演(268回)</p>									
<p>○伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修 ・伝統芸能の伝承者等の養成研修実績</p>	<p>活動実績</p>	<p>(伝統芸能の伝承者の養成) 平成21年度修了生(歌舞伎俳優6名、歌舞伎長唄3名、太神楽1名) 平成22年度修了生(歌舞伎鳴物2名、歌舞伎竹本2名、能楽基礎課程4名、文楽2名、組踊9名) 平成23年度研修生 歌舞伎俳優(研修期間3年):第20期生9名(2年目) 歌舞伎音楽・長唄(研修期間3年):第5期生2名(2年目) 歌舞伎音楽・竹本(研修期間2年):第20期生1名(1年目) 太神楽(研修期間3年):第6期生1名(2年目) 太神楽(研修期間3年):第7期生2名(1年目) 能楽(三役)研修(研修期間 基礎課程3年、専門課程3年):第8期生4名(4年目)×ワキ方1名、小鼓方1名、狂言方2名) 文楽(研修期間2年):第25期生4名(1年目)×三味線2名、人形2名) 組踊(研修期間3年):第3期生9名(1年目)</p>									

活動指標及び活動実績 (アウトプット)			(現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修) オペラ歌手、バレエダンサー、演劇俳優を育成するための研修を実施した。 平成21年度修了生 (オペラ5名、バレエ6名、バレエ予科1名、演劇14名) 平成22年度修了生 (オペラ5名、バレエ6名、バレエ予科5名、演劇14名) 平成23年度修了生 (オペラ5名、バレエ6名、バレエ予科2名、演劇11名)	
	○伝統芸能及び現代舞台芸術に関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用 ・伝統芸能等の調査研究		活動実績	
		(伝統芸能に関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用) 演出・演技の向上に資する各種の調査研究を行い、上演資料集など広く普及啓蒙に資する書籍等を刊行した。 【平成21年度】 刊行 上演資料集 歌舞伎6冊、文楽5冊、組踊3冊 「近代歌舞伎年表 名古屋篇」第四巻他 文化デジタルライブラリーホームページへのアクセス件数 338,245件 展示 伝統芸能情報館資料展示室 実施4回 演芸場資料展示室 実施4回 能楽堂資料展示室 実施5回 文楽劇場資料展示室 実施5回 国立劇場おきなわ資料展示室 実施4回 【平成22年度】 刊行 上演資料集 歌舞伎7冊 文楽5冊 組踊3冊 近代歌舞伎年表 名古屋編 第五巻 その他、文献の復刻、沖縄芸能史年表等 文化デジタルライブラリーホームページへのアクセス件数 426,910件 展示 伝統芸能情報館資料展示室 実施4回 演芸場資料展示室 実施4回 能楽堂資料展示室 実施5回 文楽劇場資料展示室 実施5回 国立劇場おきなわ資料展示室 実施4回 【平成23年度】 刊行 上演資料集 歌舞伎6冊 文楽5冊 組踊3冊 近代歌舞伎年表 名古屋編 第六巻 義太夫年表 昭和篇 第一巻 その他、文献の復刻、沖縄芸能誌年表等 文化デジタルライブラリーホームページへのアクセス件数 445,148件 展示 伝統芸能情報館資料展示室 実施4回 演芸場資料展示室 実施4回 能楽堂資料展示室 実施4回 文楽劇場資料展示室 実施5回 国立劇場おきなわ資料展示室 実施4回		
		(現代舞台芸術に関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用) 上演や作品について資料調査を実施するとともに、自主公演の記録を作成するほか、各種芸能資料を収集し、資料展示室やインターネット等による公開を実施した。 海外戯曲の翻訳に関する調査等 新訳戯曲の刊行 上演作品や国内外の劇場・芸術団体等の実態及び活動状況に関する調査研究・活用 主催公演の公演記録映像等の整理・活用等 過去の上演作品に関する著作権等の調査・活用等 【平成21年度】 展示 舞台美術センター常設展 3回 舞台美術センター企画展 1回 新国立劇場内企画展 3回 【平成22年度】 展示 舞台美術センター常設展 3回 舞台美術センター企画展 2回 新国立劇場内企画展 3回 【平成23年度】 展示 舞台美術センター常設展 2回 舞台美術センター企画展 2回 新国立劇場内企画展 1回		
単位当たりコスト	—		算出根拠	—
25年度内訳 24年度予算	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
	独立行政法人日本芸術文化振興会運営費交付金	10,062 百万円	10,082 百万円	
	計	10,062 百万円	10,082 百万円	

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当該法人は、我が国古来の伝統的な芸能の公開等を行い、その保存及び振興を図るとともに、我が国における現代舞台芸術の公演等を行い、その振興及び普及を図ることによって芸術その他の文化の向上に寄与することを目的としており、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	原則一般競争入札による調達を実施し、支出先の選定は妥当であり、競争性は確保されている。また、競争性のない随意契約、一般競争入札を実施したが結果として一者応札となったものについても契約監視委員会の厳正な審査により検証されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	おおむね年度計画どおりに実施されている。中でも伝統芸能の分野において後継者養成をはじめ、公演記録や調査研究の分野でも高い成果をあげていると認められる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ●おおむね事業の目的に沿った事業運営がなされていると認められる。 ●基金事業について、助成件数を高水準で維持していることは大いに評価できる。また、助成した事業の会計調査や公演等調査を多く実施しており、調査結果を次回の審査に反映するため積極的に取り組んでいると評価できる。 ●公演事業について、平成23年度の入場者数は目標を下回っており、これは東日本大震災の影響もあると考えられるが、下回った要因について分析が求められる。 ●国費縮減のため、引き続き業務運営の効率化を進めるとともに、寄附金等自己収入の増加等を図るため、事業への支援の獲得、施設貸付の増大等に努めることが求められる。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、独立行政法人に対する運営費交付金の交付事業であり、事業の効率化の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: これまでも業務運営の効率化に努めてきたところであるが、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」「独立行政法人の制度及び組織の見直しの基本方針」等を踏まえ、国の負担を増やさない形での事業の充実を図るべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)等を踏まえ、寄附金収入の増加等を図るため、事業への支援の獲得、公演の入場料、施設貸付の増大等、自己収入拡大のための取組を実施している。また、一般競争入札等による競争性、公平性、透明性を確保するため、仕様書の内容の見直し、公告期間の延長等、自己収入の拡大及びコスト縮減で、概算要求に▲398百万円反映した。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>関係する計画、通知等については以下を参照。</p> <p>○中期目標 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/dokuritu/chuuki/geijutu.htm</p> <p>○中期計画 http://www.ntj.jac.go.jp/assets/files/about/document/midplan02.pdf (日本芸術文化振興会HPへリンク)</p> <p>○業務方法書 http://www.ntj.jac.go.jp/assets/files/about/document/gyomuhouhou2003.pdf (日本芸術文化振興会HPへリンク)</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0468	平成23年行政事業レビュー	0386

※平成23年度実績を記入

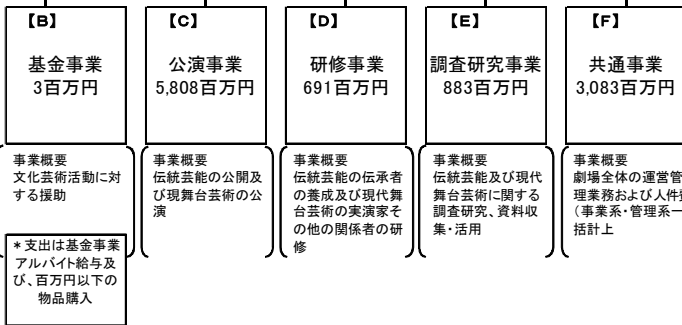
文化庁
10,244百万円

事業概要
独立行政法人日本芸術文化振興会
に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を交付する。

〔交付〕

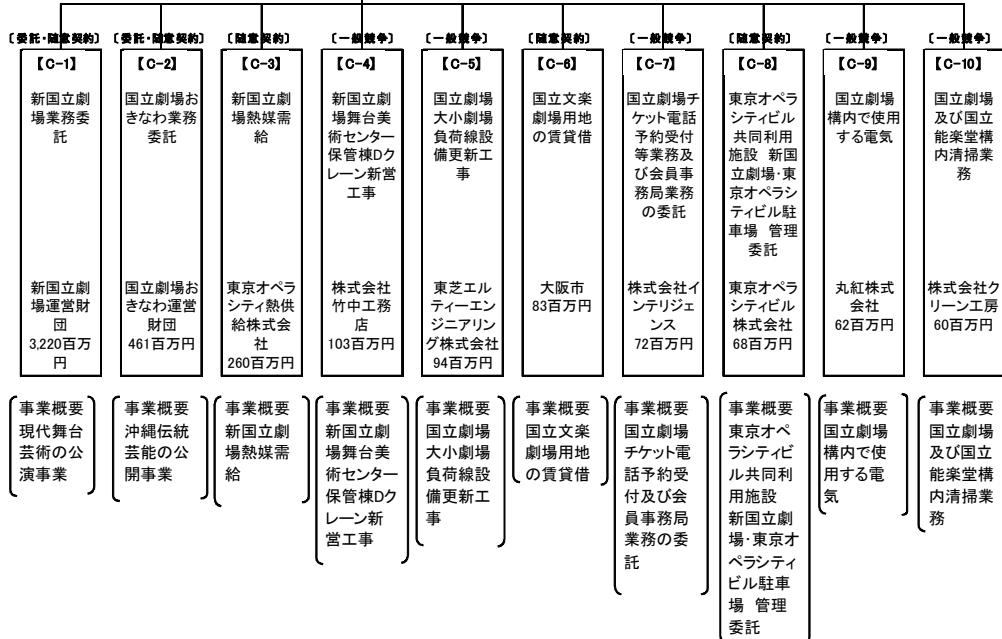
〔A〕
独立行政法人日本芸術文化振興会
10,469百万円(運営費交付金部門)

※〔A〕には、当該年度運営費交付金の執行分のほか、自己収入及び前中期目標期間繰越積立金からの執行分も含む。

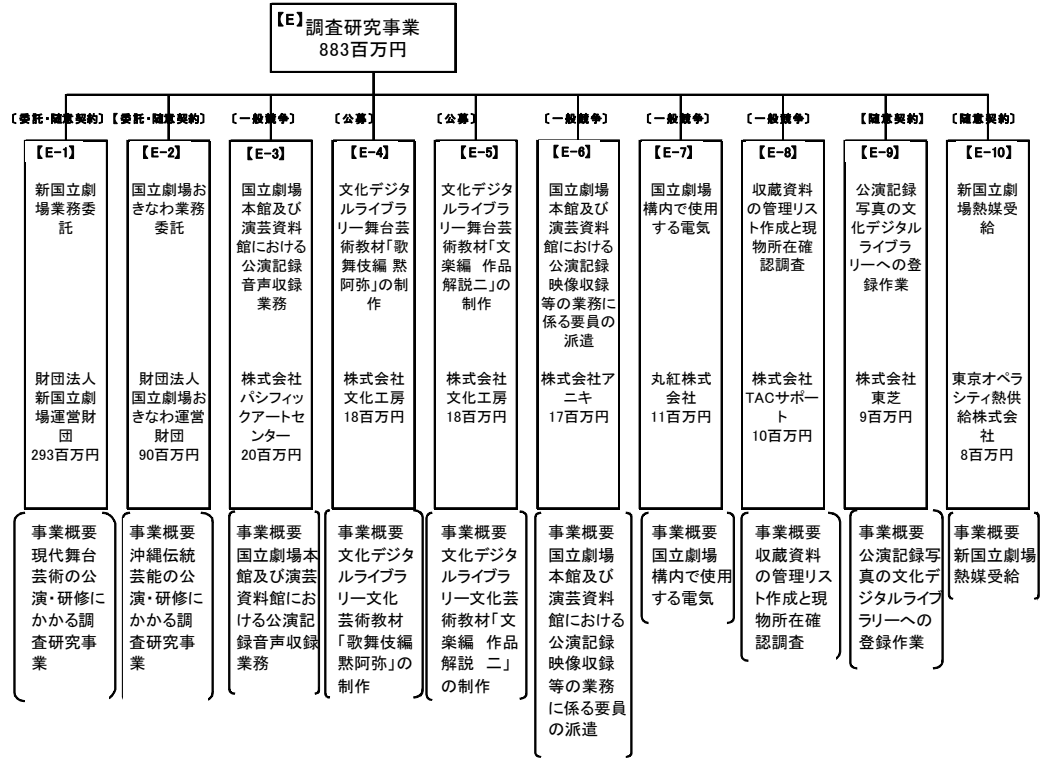
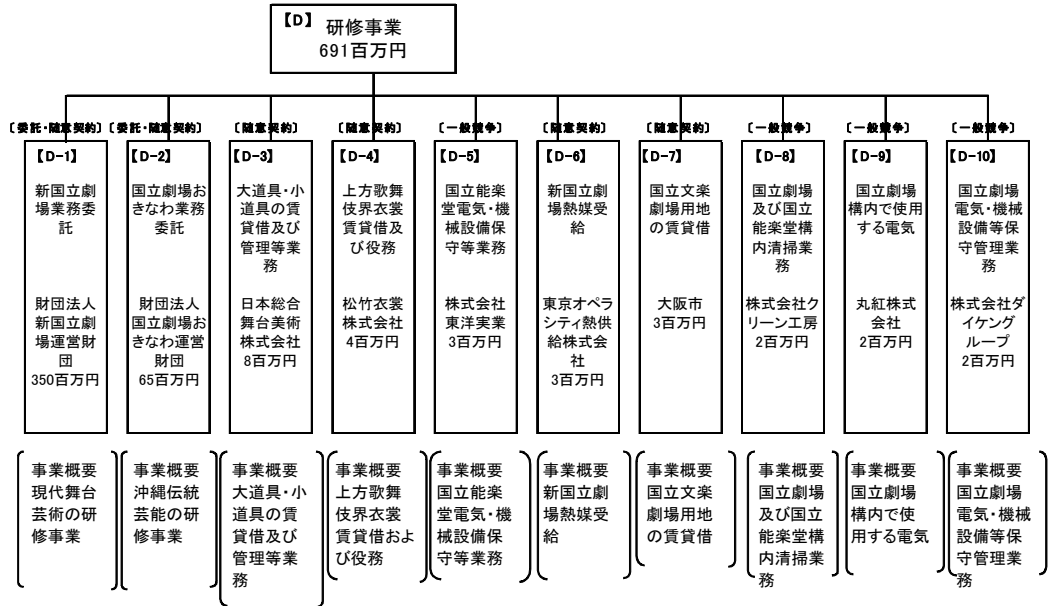


資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

〔C〕公演事業
5,808百万円



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)



【F】 共通事業
3,083百万円

【公債】	【一般競争】	【一般競争】	【随需契約】	【一般競争】	【随需契約】	【随需契約】	【一般競争】	【随需契約】	【公債】
【F-1】	【F-2】	【F-3】	【F-4】	【F-5】	【F-6】	【F-7】	【F-8】	【F-9】	【F-10】
日本芸術文化振興会用賃貸宿舎新築工事(変更契約)	独立行政法人日本芸術文化振興会情報システムの総括運用支援業務委託	ソフトウェアライセンス購入及び設定作業	日本芸術文化振興会所蔵絵画の調査及び修復	国立劇場と国立能楽堂、国立文楽劇場、新国立劇場間の専用回線使用	財務会計等システムのWindows7・Internet Explorer8対応についての改修	平成22年度財務諸表の官報掲載	国立劇場及び国立能楽堂構内清掃業務	平成21年度財務諸表の官報掲載	監査契約
積水ハウス株式会社 151百万円	株式会社日本ビジネスステーションプロセッシングセンター 13百万円	東芝情報機器株式会社 11百万円	株式会社額装舂水 8百万円	KDDI株式会社 7百万円	日本電気株式会社 6百万円	東京官書普及株式会社 5百万円	株式会社クリーン工房 5百万円	東京官書普及株式会社 5百万円	有限責任監査法人トーマツ 5百万円

事業概要 日本芸術文化振興会用賃貸宿舎新築工事	事業概要 独立行政法人日本芸術文化振興会情報システムの総括運用支援業務委託	事業概要 ソフトウェアライセンス購入及び設定作業	事業概要 日本芸術文化振興会所蔵絵画の調査及び修復	事業概要 国立劇場と国立能楽堂、国立文楽劇場、新国立劇場間の専用回線使用	事業概要 財務会計等システムのWindows7・Internet Explorer8対応についての改修	事業概要 平成22年度財務諸表の官報掲載	事業概要 国立劇場及び国立能楽堂構内清掃業務	事業概要 平成21年度財務諸表の官報掲載	事業概要 監査契約
----------------------------	--	-----------------------------	------------------------------	---	--	-------------------------	---------------------------	-------------------------	--------------

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

【委託・随需契約】

【G】 新国立劇場業務委託
新国立劇場運営財団 3,863百万円

※【G】=【C-1】+【D-1】+【E-1】

事業概要
新国立劇場の運営業務

【一般競争】	【一般競争】	【随需契約】	【一般競争】	【一般競争】	【随需契約】	【一般競争】	【一般競争】	【一般競争】	【一般競争】
【G-1】	【G-2】	【G-3】	【G-4】	【G-5】	【G-6】	【G-7】	【G-8】	【G-9】	【G-10】
舞台運用業務	舞台照明運用業務	警備(機械・常駐)業務	総合設備管理業務	清掃業務	ボックスオフィス運営業務	楽屋稽古場管理運営業務	劇場案内業務	舞台進行管理業務	舞台音響運用業務
(株)シアターコミュニケーションシステムズ 303百万円	(株)レンズ 165百万円	セコム(株) 142百万円	大成サービス(株) 139百万円	(株)日進産業 94百万円	びあ(株) 68百万円	マンパワージャパン(株) 56百万円	サントリーパブリシティサービス(株) 51百万円	(株)ザ・スタッフ 50百万円	(株)レンズ 46百万円
事業概要 舞台運用業務	事業概要 舞台照明運用業務	事業概要 警備(機械・常駐)業務	事業概要 総合設備管理業務	事業概要 清掃業務	事業概要 チケット販売	事業概要 楽屋稽古場管理運営業務	事業概要 劇場案内業務	事業概要 舞台進行管理業務	事業概要 舞台音響運用業務

【委託・隨意契約】

【H】

※【H】=【C-2】+【D-2】+【E-2】

国立劇場おきなわ業務委託
国立劇場おきなわ運営財団
616百万円

事業概要
国立劇場おきなわの運營業務

【H-1】 舞台技術 常駐業務 (株)ハート ス 60百万円 事業概要 舞台技術 常駐業務	【H-2】 清掃業務 沖縄県ビル メンテナンス 協同組合 23百万円 事業概要 清掃業務	【H-3】 施設運転 監視業務 (株)サンメ ンテナンス 19百万円 事業概要 施設運転 監視業務	【H-4】 警備業務 新報警備 保障総合ビル 管理(株) 14百万円 事業概要 警備業務	【H-5】 公演記録 映像業務 (株)沖縄映 像センター 10百万円 事業概要 公演記録 映像収録 業務	【H-6】 劇場案内 等運營業 務 (株)りゅうせ きビジネス サービス 12百万円 事業概要 劇場案内 等運營業 務	【H-7】 音響設備 定期保守 業務 ヤマハサウ ンドシステ ム(株) 10百万円 事業概要 音響設備 定期保守 業務	【H-8】 照明設備 定期保守 業務 (有)沖縄エ ル・アンド・ ジー 8百万円 事業概要 照明設備 定期保守 業務	【H-9】 中央監視シ ステム保守 点検業務 ジョンソン コントロール ズ(株) 8百万円 事業概要 中央監視シ ステム保守 点検業務	【H-10】 舞台機構 定期保守 業務 カヤバシス テムマシナ リー(株) 7百万円 事業概要 舞台機構 定期保守 業務
---	---	---	---	---	--	--	---	--	---

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と用途の双方 で実情が分かるように記載)	A. 独立行政法人日本芸術文化振興会			E. 調査研究事業		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	事業費 (物件費)	公演費、養成研修費、資料収集活用費、業務委託費等(内訳は、B～E参照)	7,385	事業費 (物件費)	資料収集活用費、芸能記録作成費、印刷製本費、業務委託費、機械保守費等	883
	事業費 (人件費)	事業系人件費	1,846			
	一般管理費 (人件費)	管理系人件費	808			
	管理費 (物件費)	借料及び損料、業務委託費、機械保守費、消耗品費、旅費等	429			
	計		10,469	計		883
	B. 基金事業			F. 法人共通事業		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	事業費 (物件費)	基金事業アルバイト給与・消耗品費	3	事業費 (人件費)	事業系人件費	1,846
				一般管理費 (人件費)	管理系人件費	808
				一般管理費 (物件費)	損料及び借料、業務委託費、機械保守費、消耗品費、旅費等	429
	計		3	計		3,083
	C. 公演事業			G. 新国立劇場運営財団		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	事業費 (物件費)	新国立劇場及び国立劇場おきなわの公演費、業務委託費、機械保守費等	5,808	事業費	人件費、警備・清掃等委託費、機械保守費、公演費、研修費、資料収集活用費等	3,863
	計		5,808	計		3,863
	D. 研修事業			H. 国立劇場おきなわ運営財団		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	事業費 (物件費)	養成研修費、台本記録作成費、印刷製本費、業務委託費等	691	事業費	人件費、警備・清掃等委託費、機械保守費、芸能記録作成費、資料収集活用費、養成研修費、公演費等	616
計		691	計		616	

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	C-1.財団法人新国立劇場運営財団			C-6.大阪市		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	新国立劇場の運営業務(公演事業)	3,716	賃貸借	国立文楽劇場用地の賃貸借	83
	計		3,716	計		83
	C-2.財団法人国立劇場おきなわ運営財団			C-7.株式会社インテリジェンス		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	国立劇場おきなわの運営(公演事業)	579	役務	国立劇場チケット電話予約受付等業務及び会員事務局業務の委託	72
	計		579	計		72
	C-3.東京オペラシティ熱供給株式会社			C-8.東京オペラシティビル株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	新国立劇場熱媒需給	260	役務	東京オペラシティビル共同利用施設 新国立劇場・東京オペラシティビル駐車場管理委託	68
	計		260	計		68
	C-4.株式会社竹中工務店			C-9.丸紅株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	工事	新国立劇場舞台美術センター保管棟Dクレーン新営工事	103	その他	国立劇場構内で使用する電気	62
計		103	計		62	
C-5.東芝エルティールエンジニアリング株式会社			C-10.株式会社クリーン工房			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
工事	国立劇場大小劇場負荷線設備更新工事	95	役務	国立劇場及び国立能楽堂構内清掃業務	60	
計		95	計		60	
費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	D-1.新国立劇場運営財団			D-6.東京オペラシティ熱供給株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	新国立劇場の運営業務(研修事業)	350	その他	新国立劇場熱媒受給	3
	計		350	計		3
	D-2.国立劇場おきなわ運営財団			D-7.大阪市		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	国立劇場おきなわの運営業務(研修事業)	65	賃貸借	国立文楽劇場用地の賃貸借	3
	計		65	計		3
	D-3.日本総合舞台美術株式会社			D-8.株式会社クリーン工房		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	賃貸借・役務	大道具・小道具の賃貸借及び管理等業務	8	役務	国立劇場及び国立能楽堂構内清掃業務	2
	計		8	計		2
	D-4.松竹衣装株式会社			D-9.丸紅株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	賃貸借・役務	上方歌舞伎界衣裳賃貸借および役務	4	その他	国立劇場構内で使用する電気	2
計		4	計		2	
D-5.株式会社東洋実業			D-10.株式会社ダイケングループ			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
役務	国立能楽堂電気・機械設備保守等業務	3	役務	国立劇場電気・機械設備等保守管理業務	2	
計		3	計		2	

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の金額が 支出されている者につ いて記載する。費目 と使途の双方で実情 が分かるように記載）	E-1.新国立劇場運営財団			E-6.株式会社アニキ		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	役務	新国立劇場の運営業務(調査研究事業)	293	役務	国立劇場本館及び演芸資料館における公演記録映像収録等の業務に係る要員の派遣	17
	計		293	計		17
	E-2.国立劇場おきなわ運営財団			E-7.丸紅株式会社		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	役務	国立劇場おきなわの運営業務(調査研究事業)	90	その他	国立劇場構内で使用する電気	11
	計		90	計		11
	E-3.株式会社パシフィックアートセンター			E-8.株式会社TACサポート		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	役務	国立劇場本館及び演芸資料館における公演記録音声収録業務	20	役務	収蔵資料の管理リスト作成と現物所在確認調査	10
	計		20	計		10
	E-4.株式会社文化工房			E-9.株式会社東芝		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	役務	文化デジタルライブラリー舞台芸術教材「歌舞伎編 黙阿弥」の制作	18	役務	公演記録写真の文化デジタルライブラリーへの登録作業	9
	計		18	計		9
	E-5.株式会社文化工房			E-10.東京オペラシティ熱供給株式会社		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	文化デジタルライブラリー舞台芸術教材「文案編 作品解説 二」の制作	18	その他	新国立劇場熱媒受給	8	
計		18	計		8	
費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の金額が 支出されている者につ いて記載する。費目 と使途の双方で実情 が分かるように記載）	F-1.積水ハウス株式会社			F-6.日本電気株式会社		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	工事	日本芸術文化振興会用賀宿舍新築工事	151	役務	財務会計等システムのWindows7・Internet Explorer8対応についての改修	6
	計		151	計		6
	F-2.株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター			F-7.東京官書普及株式会社		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	役務	独立行政法人日本芸術文化振興会情報システムの総括運用支援業務委託	13	その他	平成22年度財務諸表の官報掲載	5
	計		13	計		5
	F-3.東芝情報機器株式会社			F-8.株式会社クリーン工房		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	役務・その他	ソフトウェアライセンス購入及び設定作業	11	役務	国立劇場及び国立能楽堂構内清掃業務	5
	計		11	計		5
	F-4.株式会社額装舂水			F-9.東京官書普及株式会社		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	役務	日本芸術文化振興会所蔵絵画の調査及び修復	8	その他	平成21年度財務諸表の官報掲載	5
	計		8	計		5
	F-5.KDDI株式会社			F-10.有限責任監査法人トーマツ		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	国立劇場と国立能楽堂、国立文楽劇場、新国立劇場間の専用回線使用	6	役務	監査契約	5	
計		6	計		5	

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の金額が 支出されている者につ いて記載する。費目 と使途の双方で実情 が分かるように記載)	G-1.(株)シアターコミュニケーションシステムズ			G-6.ぴあ(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	舞台運用業務	303	役務	チケット販売(ボックスオフィス)運營業務	68
	計		303	計		68
	G-2.(株)レンズ			G-7.マンパワージャパン(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	舞台照明運用業務	165	役務	楽屋稽古場管理運營業務	56
	計		165	計		56
	G-3.セコム(株)			G-8.サントリーパブリシティサービス株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	警備(機械・常駐)業務	142	役務	劇場案内業務	51
	計		142	計		51
	G-4.大成サービス(株)			G-9.(株)ザ・スタッフ		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	総合設備管理業務	139	役務	舞台進行管理業務	50
	計		139	計		50
	G-5.(株)日進産業			G-10.(株)レンズ		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	清掃業務	94	役務	舞台音響運用業務	46	
計		94	計		46	
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の金額が 支出されている者につ いて記載する。費目 と使途の双方で実情 が分かるように記載)	H-1.(株)ハートス			H-6.(株)りゅうせきビジネスサービス		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	舞台技術常駐業務	60	役務	劇場案内等運營業務	12
	計		60	計		12
	H-2.沖縄県ビルメンテナンス協同組合			H-7.ヤマハサウンドシステム(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	清掃業務	23	役務	音響設備定期保守業務	10
	計		23	計		10
	H-3.(株)サンメンテナンス			H-8.(有)沖縄エル・アンド・シー		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	施設運転監視業務	19	役務	照明設備定期保守業務	8
	計		19	計		8
	H-4.新報警備保障総合ビル管理(株)			H-9.ジョンソンコントロールズ(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	警備業務	14	役務	中央監視システム保守点検業務	8
	計		14	計		8
	H-5.(株)沖縄映像センター			H-10.カヤバシステムマシナリー(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	公演記録映像収録業務	12	役務	舞台機構定期保守業務	7	
計		12	計		7	

支出先上位10者リスト

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人新国立劇場運営財団	新国立劇場業務委託	3,220	随意契約	—
2	財団法人国立劇場おきなわ運営財団	国立劇場おきなわ業務委託	461	随意契約	—
3	東京オペラシティ熱供給株式会社	新国立劇場熱媒需給	260	随意契約	—
4	株式会社竹中工務店	新国立劇場舞台美術センター保管棟Dクレーン新営工事	103	3	—
5	東芝エルティールエンジニアリング株式会社	国立劇場大小劇場負荷線設備更新工事	95	2	—
6	大阪市	国立文楽劇場用地の賃貸借	83	随意契約	—
7	株式会社インテリジェンス	国立劇場チケット電話予約受付等業務及び会員事務局業務の委託	72	2	—
8	東京オペラシティビル株式会社	東京オペラシティビル共同利用施設 新国立劇場・東京オペラシティビル駐車場 管理委託	68	随意契約	—
9	丸紅株式会社	国立劇場構内で使用する電気	62	4	—
10	株式会社クリーン工房	国立劇場及び国立能楽堂構内清掃業務	60	2	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人新国立劇場運営財団	新国立劇場業務委託	350	随意契約	—
2	財団法人国立劇場おきなわ運営財団	国立劇場おきなわ業務委託	65	随意契約	—
3	日本総合舞台美術株式会社	大道具・小道具の賃貸借及び管理等業務	8	随意契約	—
4	松竹衣裳株式会社	上方歌舞伎会衣裳賃貸借および役務	4	随意契約	—
5	株式会社東洋実業	国立能楽堂電気・機械設備保守等業務	3	3	—
6	東京オペラシティ熱供給株式会社	新国立劇場熱媒需給	3	随意契約	—
7	大阪市	国立文楽劇場用地の賃貸借	3	随意契約	—
8	株式会社クリーン工房	国立劇場及び国立能楽堂構内清掃業務	2	2	—
9	丸紅株式会社	国立劇場構内で使用する電気	2	4	—
10	株式会社ダイケングループ	国立劇場電気・機械設備等保守管理業務	2	2	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人新国立劇場運営財団	新国立劇場業務委託	293	随意契約	—
2	財団法人国立劇場おきなわ運営財団	国立劇場おきなわ業務委託	90	随意契約	—
3	株式会社パンフィックアートセンター	国立劇場本館及び演芸資料館における公演記録音声収録業務	20	2	—
4	株式会社文化工房	文化デジタルライブラリー 舞台芸術教材「歌舞伎編 黙阿弥」の制作	18	12(公募)	—
5	株式会社文化工房	文化デジタルライブラリー 舞台芸術教材「文楽編 作品解説 二」の制作	18	10(公募)	—
6	株式会社アニキ	国立劇場本館及び演芸資料館における公演記録映像収録等の業務に係る要員の派遣	17	3	—
7	丸紅株式会社	国立劇場構内で使用する電気	11	4	—
8	株式会社TACサポート	収蔵資料の管理リスト作成と現物所在確認調査	10	1	—
9	株式会社東芝	公演記録写真の文化デジタルライブラリーへの登録作業	9	随意契約	—
10	東京オペラシティ熱供給株式会社	新国立劇場熱媒需給	8	随意契約	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	積水ハウス株式会社	日本芸術文化振興会用賀宿舍新築工事(変更契約)	151	2(公募)	—
2	株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター	独立行政法人日本芸術文化振興会情報システムの総括運用支援業務委託	13	4	—
3	東芝情報機器株式会社	ソフトウェアライセンス購入及び設定作業	11	8	—
4	株式会社額装舂水	日本芸術文化振興会所蔵絵画の調査及び修復	8	随意契約	—
5	KDDI株式会社	国立劇場と国立能楽堂、国立文楽劇場、新国立劇場間の専用回線使用	7	1	—
6	日本電気株式会社	財務会計等システムのWindows7・Internet Explorer8対応についての改修	6	随意契約	—
7	東京官書普及株式会社	平成22年度財務諸表の官報掲載	5	随意契約	—
8	株式会社クリーン工房	国立劇場及び国立能楽堂構内清掃業務	5	2	—
9	東京官書普及株式会社	平成21年度財務諸表の官報掲載	5	随意契約	—
10	有限責任監査法人トーマツ	監査契約	5	3(公募)	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シアターコミュニケーションシステムズ	舞台運用業務	303	1	—
2	(株)レンズ	舞台照明運用業務	165	1	—
3	セコム(株)	警備(機械・常駐)業務	142	随意契約	—
4	大成サービス(株)	総合設備管理業務	139	1	—
5	(株)日進産業	清掃業務	94	1	—
6	びあ(株)	ボックスオフィス運営業務	68	随意契約	—
7	マンパワージャパン(株)	楽屋稽古場管理運営業務	56	1	—
8	サントリーパブリシティサービス(株)	劇場案内業務	51	1	—
9	(株)ザ・スタッフ	舞台進行管理業務	50	2	—
10	(株)レンズ	舞台音響運用業務	46	1	—

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ハートス	舞台技術常駐業務	60	2	—
2	沖縄県ビルメンテナンス協同組合	清掃業務	23	3	—
3	(株)サンメンテナンス	施設運転監視業務	19	4	—
4	新報警備保障総合ビル管理(株)	警備業務	14	9	—
5	(株)沖縄映像センター	公演記録映像収録業務	12	2	—
6	(株)りゅうせきビジネスサービス	劇場案内等運営業務	12	3	—
7	ヤマハサウンドシステム(株)	音響設備定期保守業務	10	2	—
8	(有)沖縄エル・アンド・シー	照明設備定期保守業務	8	2	—
9	ジョンソンコントロールズ(株)	中央監視システム保守点検業務	8	1	—
10	カヤバシステムマシナリー(株)	舞台機構定期保守業務	7	2	—